

市民センター社会教育課 (☎@4413)

生涯学習係(内線271、272)、青少年係(内線273、276)、芸術振興係(内線270)
スポーツ健康課(内線275)、宮守総合支所幼児教育センター (☎@2113)

市文化交流施設「みやもりホール」開館記念

IBCラジオ民謡まわり舞台 みやもりホール夏の民謡まつり

7/13(木)
前売り券
発売開始

8月20日(日)

午後2時開演(午後1時30分開場)

みやもりホール

全席自由500円(当日券700円)

出演 氷口御祝(オープニング)

菊池信夫(上郷町)、菊池マセ(松崎町出身)、

菊池ひろみ(上郷町出身)、藤原美幸、

多田秀孝(宮守町、三味線)、菅原重治(三味線)、岩井利信(尺八)



菊池信夫



菊池マセ



菊池ひろみ

◎プレイガイド

とびあ、遠野駅前物産センター、遠野風の丘、ちょボラ、グランドインテリア、mm1、道の駅みやもり、しらいし屋、大正商店、市民センター、宮守総合支所、みやもりホール、各地区センター

問い合わせ先=社会教育課芸術振興係



オープニングを飾った綾織児童館の一輪車演技



音楽に合わせてアイダアイダの体操をする児童

わくわくフェスティバルを開催 遊びを通して交流を深める

第一回わくわくフェスティバル(市保育協会主催)は六月二十四日、運動公園集いの広場で開催され、児童や幼児、その保護者ら約五百五十人にぎわいました。

綾織児童館の子どもたちによる一輪車の華麗な演技でオープニングセレモニーを飾り、市保育協会の菊池侑理理事長が「遊びを通していろいろな記録に挑戦しながら、児童館、児童クラブの交流の和を広げていこう」とあいさつしました。

クイズに答えて賞品が当たる宝探しやOXゲームなどで盛り上がり、馬の里によるポニーと触れ合いコーナーが人気を集めました。

市保育協会などは、子どもたちの関心が高い遊びを中心としながら、親子がゆつくりと触れ合えるようにと「わくわくフェスティバル」を企画。白岩児童館の松本武則館長は「予想以上の参加者と天気に恵まれ、大成功に終わることができました。たくさんのお親子が参加して、交流を深めることができ、大変良かったと思います」と話していました。

参加した遠野北小一年の川村悠里君は「ボール投げ(ストラックアウト)で、たくさん当たって嬉しかったです」と笑顔を見せていました。

市は、防犯協会、PTA連合会など二十八団体が協力し「買わない」「買わせない」「設置しない」の三つの運動を合言葉に、チラシを配ったり、土地提供者と話し合いをしたりするなどの取り組みをしています。

地域に住む住民一人一人が関心を持ち、業者に「この地域への設置は無理だろう」と思わせるよう、皆さんの協力をお願いします。

成人向け図書販売機をなくそう

「買わない」「買わせない」「設置しない」

市内には現在、五カ所に計十四台の成人向け雑誌やビデオなどを扱った図書類自動販売機が設置されています。これは、交通量の多い道路沿いで駐車スペースがある所に設置されることが多く、中学生や高校生の通学路でもあることから、青少年の健全育成に影響を及ぼしかねません。また、景観を損ねる原因ともなります。

第24回 民話の里

ほのぼのの Marathon 遠野大会

8月27日(日) 9時30分スタート

市総合福祉センター前 スタート・ゴール

ファミリーの部を新設!

◆種目

- 3 キロ=小学校4年生以上男子・女子、中学生女子、ファミリー
- 5.5キロ=中学生男子、高校生女子、49歳以下男子・女子、50歳以上男子・女子
- 10 キロ=男子：高校生、29歳以下、30~39歳、40~49歳、50~59歳、60歳以上
女子：39歳以下、40歳以上

ハーフマラソン=一般男子、一般女子

◆参加料=小学生・中学生500円、高校生1,000円、ファミリー2,000円、上記以外は2,500円

◆申し込み締め切り=7月31日(日)

申し込み・問い合わせ先=スポーツ健康課内、民話の里ほのぼのの Marathon 遠野大会事務局



号砲とともにスタート
(第23回大会より)

ふるさと学習会 (環境編Ⅱ)開催

- 稲荷穴の洞窟探査や二股湿原大洞カルス洞などの自然を調査しながら、水に関する知識や環境保全について理解を深めます。
- 日時 七月二十四日(月)午前九時~午後三時三十分
- 対象 市内にお住まいの人
- 定員 二十人(先着順)
- 申込期間 七月十二日(水)~二十日(木)
- 参加料 二千円(保険料など)
- 申し込み・問い合わせ先 社会教育課生涯学習係

オペレッタ「クルク ル絵本の旅」公演

- 歌あり、生演奏ありの楽しい音楽劇「クルクル絵本の旅」とファミリーコンサート「みんなと一緒に歌いま show -ka」の二本立て。入場は無料で、幼児から大人まで楽しめる内容です。ぜひご家族でお越しください。
- ※座席確保の都合上、十人以上の団体で来場する場合には事前連絡してください。
- 日時 八月三日(木)午前十時三十分開演
- 会場 みやもりホール
- 問い合わせ先 宮守総合支所 幼児教育センター

遠野物語ゼミナール 2006 開催

- 「遠野物語」の基盤にあるのは近世から明治・大正期にかけての遠野郷。特にも土淵町山口地区の農民を中心とした生活です。遠野郷で生活する人々の多くが農民で、自然の中で自給的な生活を余儀なくされてきました。しかし、なぜか遠野物語の中には「食」の内容にあまり触れていません。当時の実際の生活に触れ、本当の遠野の姿を見つめるため、今年には特に「食」に焦点を当てたゼミナールを開催します。
- 大学生・大学院生で運営に協力してくれるボランティアも募集しています。
- 日時 八月二十五日(金)~二十七日(日)
- 内容 講義、記念講演、野外交流会、フィールドワーク(ふるさと村、菅原神社、早池峰神社、江川牧場)など
- 会場 ありあけ遠野交流ホールほか
- 定員 八十人
- 申し込み締め切り 八月五日(土)
- 参加費 一万五千元(受講料、野外交流会費など)
- 申し込み・問い合わせ先 遠野物語研究所 (☎@0809)

隔月で発行していた「学習情報版

学びのいずみ」は、五月号から毎月「広報遠野」に掲載されています。